



女性の福音

シリーズ～福音の力～

2020/12/13

アドベント第3週

ルカによる福音書1章26～38節



六か月目に、天使ガブリエルは、ナザレというガリラヤの町に神から遣わされた。ダビデ家のヨセフという人のいいなずけであるおとめのところに遣わされたのである。そのおとめの名はマリアといった。天使は、彼女のところに来て言った。「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。」マリアはこの言葉に戸惑い、いったいこの挨拶は何のことかと考え込んだ。すると、天使は言った。「マリア、恐れることはない。あなたは神から恵みをいただいた。あなたは身ごもって男の子を産むが、その子をイエスと名付けなさい。その子は偉大な人になり、いと高き方の子と言われる。



神である主は、彼に父ダビデの王座をくださる。彼は永遠にヤコブの家を治め、その支配は終わることがない。」マリアは天使に言った。「どうして、そのようなことがありえましょうか。わたしは男の人を知りませんのに。」天使は答えた。「聖霊があなたに降り、いと高き方の力があなたを包む。だから、生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれる。あなたの親類のエリサベトも、年をとっているが、男の子を身ごもっている。不妊の女と言われていたのに、もう六か月になっている。神にできないことは何一つない。」マリアは言った。「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように。」そこで、天使は去って行った。



受胎告知

- **結婚を前にしていた一人の女性(少女)**
 - ナザレというガリラヤの片田舎の町
 - 大工のヨセフのいいなずけだった
- **天使ガブリエルの突然の来訪**
 - 祭司ザカリアにも現れた天使
 - 「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。」>戸惑うマリア
- **受胎告知**
 - 「身ごもって**男の子を産む…イエス**と名付けなさい」
 - 「彼に父ダビデの王座をくださる。彼は**永遠にヤコブの家を治め、その支配は終わることがない。**」

ルカによる福音書1章39～45節



そのころ、マリアは出かけて、急いで山里に向かい、ユダの町に行った。そして、ザカリアの家に入ってエリサベトに挨拶した。マリアの挨拶をエリサベトが聞いたとき、その胎内の子がおどった。エリサベトは聖霊に満たされて、声高らかに言った。「**あなたは女の中で祝福された方**です。胎内のお子さまも祝福されています。わたしの主のお母さまがわたしのところに来てくださるとは、どういうわけでしょう。あなたの挨拶のお声をわたしが耳にしたとき、胎内の子は喜んでおどりました。主がおっしゃったことは必ず実現すると信じた方は、なんと幸いでしょう。」



マリア、エリサベトに会いに行く

- **天使ガブリエルが告げた証拠**
 - 不妊の女エリサベトが妊娠し、6ヶ月になっている
- **ナザレからユダヤの山里へ**
 - 100km以上の道のり！ > 急いでも3～4日かかる
- **エリサベトの歓迎**
 - マリアの挨拶を聞いたとき、胎内の子がおどった！
 - 「あなたは女の中で祝福された方です。胎内のお子さまも祝福されています。」
- **マリア、受胎を確信する**



ルカによる福音書1章46～56節

そこで、マリアは言った。

「わたしの魂は主をあがめ、わたしの霊は救い主である神を喜びたたえます。身分の低い、この主のはしためにも／目を留めてくださったからです。今から後、いつの世の人も／わたしを幸いな者と言うでしょう、力ある方が、わたしに偉大なことをなさいましたから。その御名は尊く、その憐れみは代々に限りなく、主を畏れる者に及びます。主はその腕で力を振るい、思い上がる者を打ち散らし、権力ある者をその座から引き降ろし、身分の低い者を高く上げ、飢えた人を良い物で満たし、富める者を空腹のまま追い返されます。



その僕イスラエルを受け入れて、憐れみをお忘れになりません、わたしたちの先祖におっしゃったとおり、アブラハムとその子孫に対してとこしえに。」
マリアは、三か月ほどエリサベトのところに滞在してから、自分の家に帰った。

マリアの賛歌(マグニフィカート)



- **名もない女性にも目を留められる主**

- 「今から後、いつの世の人も／わたしを幸いな者と言うでしょう」> **世界一有名な女性になった!**
- 主は、誰も知らない片田舎の女性を、神の子をこの世に出現させるために用いられた

- **人知を越える主の力**

- 「力ある方が、わたしに偉大なことをなさいましたから」> マリアだけが真実を知っている
- マリアこそ、イエス様の最初の証人である

マリアの賛歌(マグニフィカート)



- **大逆転をもたらされる主**

- 「権力ある者をその座から引き降ろし、身分の低い者を高く上げ、飢えた人を良い物で満たし、富める者を空腹のまま追い返されます。」
- 主は人間社会の理不尽をご存じである

- **約束を守られる主**

- 「わたしたちの先祖におっしゃったとおり、アブラハムとその子孫に対してとこしえに。」
- 「地上の氏族はすべて／あなたによって祝福に入る。」創世記12:3



女性の福音

- **出産の苦しみは罪の報いであった**
 - 罪を犯した後エバに下された報い
 - 「お前のはらみの苦しみを大きなものにする。お前は、苦しんで子を産む。」創世記3:16
- **出産が神の祝福の再出発となった！**
 - 主は一人の女性の出産を用いて、救い主を世に送り出された
 - 罪人であるマリアが用いられたのは、やがて実行されるキリストの死と復活により、マリアの罪も贖われるからである（贖罪は時間を超えて有効）
 - **マリアは、神と人との関係回復の象徴である！**



「今から後、いつの世の人もわたしを
幸いな者と言うでしょう、力ある方が、
わたしに偉大なことをなさいましたか
ら。」

全人類に！

ルカによる福音書1章48～49節